

長沼町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月 4日設置
平成21年3月17日連携計画策定



概要

長沼町は、町営バスが町内の公共交通の中心であるが、住宅が低密度に分散していることもあって、路線が長大となり、運行の効率性が低いため収益が低迷しているほか、農村地域においては、バス停までの距離が長く、公共交通空白地帯が多く存在していることから、デマンド型交通の導入、モビリティ・マネジメントの実施、リアルタイムな予約や走行位置の情報提供が可能なシステムの構築、商店街と連携したバス利用促進策の推進等により、公共交通空白地帯の解消や町内の公共交通の利便性の向上を図る。

○デマンド型交通の導入(21~23年度)

・公共交通空白地帯の解消や高齢者の買物・通院等の日常生活における足の確保のため、21年度秋から段階的に、町中心市街地を軸に3区分した地域において、デマンド型交通導入の実証実験を行う。

○モビリティ・マネジメントの実施(21~23年度)

・デマンド型交通の利用促進を目的にデマンド型交通の実証実験に合わせて、住民を対象とした運行方法や運行時刻の周知等を行うモビリティ・マネジメントを実施する。

○リアルタイム情報提供システムの構築(23年度)

・デマンド型交通は、利用者が多くなると迂回箇所が増え、運行時間や待ち時間が長くなるため、利用の低下が懸念されることから、デマンド型交通車両発車後においても電話予約が可能で、リアルタイムにどこを走行しているか把握可能なシステムの構築を行う。

○商店街との連携(22~23年度)

・バスの利用促進策として、バスを利用して買物にきた利用者に対して、バス運賃の割引や購入商品を割り引きする実証実験を行う。

